

令和6年度水産青年フォーラム

宮城県漁業協同組合青年部
事務局 須藤 庄太郎

開催日時：令和7年2月19日（水）：14：00～17：20

開催場所：TKP 仙台青葉通カンファレンスセンター

出席者数：155名

対象者：JF みやぎ青年部・研究会員、若手漁業者

1. はじめに

当青年部では、「水産青年フォーラム」と題し、青年部員同士の意見交換や、水産関係機関との情報共有を目的とした集会を開催している。内容は大きく分けて「分科会」と「研修会」の2つのプログラムがあり、「分科会」では漁業種別に班分けしたうえで各浜の状況について報告を行い、研究機関や水産関係者からの助言を頂きながら、浜の問題解決へ向けて討論を行う。「研修会」では専門知識を持つ講師による講演を拝聴する。

2. 研修会の概要

研修会のテーマについては事前に青年部員からの要望をもとに決めている。この研修会は、漁業者や水産関係者が集い、水産業を取り巻くあらゆる問題への対処や、持続可能な水産業の在り方について考えるための知見を広げる貴重な機会として、これからの水産業を担う若手漁業者にとって重要な役割を持っている。今回の要望調査ではテーマより先に講師としてフクダ海洋企画の福田潜水土の名が挙がった。福田氏

は宮城県石巻市をはじめ全国各地で潜水調査の活動をしており、調査に関しても非常に信頼された実績を持つことから、テーマについては福田氏と相談したうえで決めることとした。

3. 講演の内容

「調査ダイバーから見たみやぎの海」

（フクダ海洋企画 代表取締役 福田介人氏）
プロの調査ダイバーの視点で、漁業者が普段見ることがない海中の現状・変化・今後の見通しについて力説された。

国で最も長く行われてきた磯根研究である、石巻市泊浜における潜水でのモニタリング結果をもとに震災前後の海の変化やその研究結果を知ることができた。

また、アワビ資源について、岩手県の大槌と宮城県の泊浜の比較研究をし、マダコによるアワビの捕食の実態を研究結果として拝聴した。

福田氏は、研究と調査を正確に行うには漁業者の協力と綿密な連携が非常に大切であり、環境の変化を元に戻すことはできないこと、効果のある対策をするにはまずその海域で何が起き

ているか、なぜそうなったか、原因を知ることが大切であると講演の中で力説した。

【研修会】

有限会社フクダ海洋企画による講演の様子



【分科会】

各科会での意見交換の様子

